

グループホーム遊空間 1Fユニット

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域密着を考えた理念になっている。理念をもとにケアの実践を行っているが、全職員に定着していない。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方と普段から挨拶を交わしたり、地域の方が窓越しに話しかけてこられたりと関わりが日常的にある。地域の行事にも参加し、地域の方からの協力も得ている。	地域の方が公民館で活動されるときなど参加できるものがあれば声をかけてほしい。 地域との関わりを持つとする意識がとて高く良いことだと思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議で出された内容について意見や改善に向けての案などを話し合い、サービス向上に活かしている。	避難訓練時、実際に災害があり避難した場合、怪我をしないようにルームシューズの工夫などの案があり実行した。 地域の一人としてサービス利用する際の選択に役立つ情報提供をしていきたい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	① 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	分からないことがあれば松江市の介護保険課や生活福祉課等の担当者の方に聞き、指導してもらっている。その際には事業所の現状も伝えている。	2月に代表者が交代し分からないことが多くあったが、施設の状況を説明し協力してもらった。 行政からの信頼も厚く感じる。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束についての研修を行い職員全員が理解を深め、身体拘束につながらないようケアの工夫に取り組んでいる。		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	第三者からの視点として地域や家族の方々を交えて話し合いの機会をとることが必要。 全職員が話し合えるような時間帯(朝の申し送り時)を工夫し、話し合った内容を全職員で共有できるようにしている。朝の申し送りの時間の活用は多くの職員が関わることで有効だと考える。 以前は食堂に入れない時間があったようだが現在は自由に過ごしてもらっている。 雨でも雪でも外に出たいという利用者にも安全確保、体調管理をしながら対応もしている。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待についての研修を行い、職員全員が理解できるよう取り組んでいる。また、申し送りの時間を利用し、不適切なケアについて話し合い、職員同士が注意し合える環境をつくっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待について研修を行い、不適切なケア、適切なケアについて全職員が話し合えるような時間帯（朝の申し送り時）を工夫し、話し合った内容を全職員で共有し改善に向けている。 職員同士が言い合えたり、アドバイスできる関係づくりに努めていく。 他事業所の事例も参考にしていけると良い。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員全員の理解には至っていないが成年後見制度については資料など確認できるようになっている。今後は勉強会をし全職員が理解できるようにしたい。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の際は時間をかけ説明するようにしているが、コロナ対策として書類を持ち帰ってもらい時間をかけて目を通してもらい、質問等を受けたこともある。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会に来られた際には普段のご利用者の様子を伝え、意見要望を聞くようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会に来られたときなど話し、意見要望などを聞くようにしているが、運営に関する意見等は出されていない。今後さらに何でも話していただけるよう関係作りをし、意見を出してもらえるような機会を作っていく。その一つとして家族アンケートを実施した。今後家族アンケートの内容を工夫し、運営推進会議に参加しやすい時間帯や居心地を良くするにはどうしたら良いか等、ご家族の意見を聞いていく。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見を普段から聞くようには心がけている。意見や提案を聞く時間としては設けていないため、今後は時間をとり職員意見の反映につなげたい。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の勤務状況や資格取得等の意欲、委員会活動状況、ボランティア活動状況などを把握し、人事考課を行っている。資格取得については受講費の支援も行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課は職員それぞれの状況を考慮しながら行っている。運営に関する職員の意見も合わせ、職員の要望を聞きながら就業環境を整えていく。 研修参加のポイント制等、職員の向上心につながる具体策を検討していく。 加算取得等も検討し、就業環境を整えていく。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間研修計画に添って内部研修を行っている。外部研修については人手不足もあり参加することが難しいが、少しずつ機会が増えているので今後も外部研修の確保をしていきたい。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で出来る研修の機会は、それ以前より減っていたが、コロナが5類以降、各機関がWeb上で様々なコンテンツを掲載しているので積極的に活用して欲しい。 人材不足の解消に努め、リモート等を活用し多くの職員が学べる機会を持つようにしていく。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム部会の参加や外部研修での交流があり、情報交換しサービス向上に活かしている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の状態に合わせ、できることはやってもらい、家事などもご利用者と職員が一緒にするような場面をつくっている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前に親しくした方との交流が継続出来るよう面会や電話でのやりとりをしてもらっている。ご家族に連絡をして面会をお願いすることもある。	ご家族の協力は不可欠で出来るだけ協力を得るようにしている。認知症により身近な人の顔が分からなくなってしまう方もおられる。入居されてからはそれまでの関係が薄くなっている方が多い。 引き続き、ご家族の協力をお願いし、手紙の代筆など施設ができることをしていく。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の思いを把握するように心がけ、職員間でも話し合いを行っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者ご家族の意見を聞き作成し、状況の変化があった場合も見直しを行っている。介護計画がケアと連動していない。	介護計画をもとにケアを提供し記録もしているが、計画の支援内容を実行した結果が記録されていないことが多い。記録に残されたご利用者の様子や職員の意見をもっと多く介護計画に反映させていく。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	朝の申し送り時に話し合っていることで、ご利用者の状況変更に応じた適切なタイミングで計画変更やモニタリングができていると考える。 今後は担当職員を中心に時間をかけて細かくモニタリングし話し合い、ご利用者が尊厳を持ってより良い暮らしができるよう、計画を作成していく。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	水分量や食事量、排泄状況や日常生活の活動状況なども記録に残し、情報共有している。介護計画の見直しにも活かしている。		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	単にケアではなく、ケアの評価を記録し、情報共有していることは評価できる。 職員の気づきや工夫も介護計画の見直しに活かしていく。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族が対応できない場合の病院受診や入院時の支援を行っている。	コロナで遠方から来ることができないご家族や普段の様子が詳しく分からないご家族に代わり、病院受診や病院入院の支援を行っている。人員配置の基準で定められた人数の職員以外の者が対応している。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方や民生委員の方、福祉推進委員の方の協力をもらい、地域で安全に暮らすことができている。また訪問販売車が定期的に来るため楽しみの一つとなっている。	ご利用者が施設の外に出られたときも、地域の方が連携して施設に連絡してくれた。訪問販売車の方の協力もあり、地域の方との交流もできている。地域で何か活動しやすいものはないか、又安全に暮らせるよう協力したい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者ご家族が希望するかかりつけ医になっている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には施設での生活状況などこまかく伝え、早期退院ができるよう施設でできることを病院側に伝えている。		④ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院に起因して認知症が進行することを考慮し、早期退院できる取り組みは評価できる。一方でADLに応じた医療リハの取り組みとの調整について更に力を入れてほしい。現状は病院でリハビリをせず、施設で日常生活によるリハビリをするため退院可能になった時点で医師と相談し、退院受け入れをしている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	体調変化があった場合など、ご家族と話し意思の確認を行っている。		A. 十分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	この一年間で数件の看取りが行われ、職員の不安を取り除いたり、利用者家族のアプローチ方法の検討を重ねていることは評価できる。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急対応時に慌てることがないように対応の訓練を行っている。			毎日の申し送りの時間にシミュレーションを行うことで全職員が実践力を身につけることができる。

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練を運営推進会議とあわせ、年2回行って、地域の方に施設の状況を把握してもらっている。	避難も日常的に訓練ができるようにしたい。地域の訓練にも参加したいので日程等決まったら知らせてほしい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護事業所には多岐にわたる計画や指針の作成が求められている。訓練を実施するには職員の理解が必要、特に災害対策については、人命や財産を守ることが重要視されるが、十分にその旨を理解できている。 石川県の災害では水の確保や下水の問題も多くあったため、今後の災害対策でも考えていく。
----	------	---	--	---	--	--	--

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	気をつけるようにしているが、なれ合いとなり、尊厳を無視した対応となっていることがある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	ホワイトボードやメモ書きによる情報共有でプライバシーが守られることもある。他ご利用者との良好な関係継続のためには、職員のさりげない支援が必要なこともある。 いろいろなプライバシーへの対応について事業所内研修をどのようにしたか、報告を期待している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者一人ひとりのペースに合わせるようにしているが、職員の都合で1日の流れが決まることもある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	下ごしらえや片付けはご利用者と職員が一緒に行っている。		A. 充分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委託先との調整は十分にできていると考える。食事の片付けをご利用者と職員とで共同作業しているところも評価できる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事については外部委託によりカロリーが把握できるようになっており、1日の水分、食事の摂取量は記録に残し、ご利用者一人ひとりの状態を把握するようにしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、ご利用者一人ひとりに合わせた口腔ケアを行っている。		A. 充分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者ごとに工夫が見られるので引き続き対応してほしい。今後は歯科医師との連携強化の検討が必要。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者一人ひとりに合わせ日中はトイレ誘導を行い、失敗を減らすようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行い失敗を減らしている。利用者ごとに工夫がみられるので引き続き対応してほしい。 ご利用者ごとのケアの工夫はできているので、職員間の意見を集約し、より良いケアを検討していく。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的には職員が複数いる時間帯はいつでも入浴可能だが、午前中に集中して入浴行ってしまう。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中は適度な活動と適度な休息をとってもらい夜間の安眠につなげている。なるべく穏やかな気持ちで寝ていただけるように対応している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬についてはいつでも確認できるようにしており、薬に変更があった場合も情報共有できるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	複数の職員で確認ができる体制がとれていると考える。 ご利用者が他のご利用者の薬をとられない工夫を強化すると更に良いと考える。松江市への事故報告では誤薬の報告がある。対策をしっかりと行ってほしい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者一人ひとりの生活歴や趣味等を活かせるように努めているが、楽しみごとを引き出すことができていないご利用者もおられる。	それまで携わってこられた仕事によって、役割や楽しみごとを引き出せる方と引き出しにくい方がおられる。男性、女性によっても違ってくる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ対策のため、以前に比べて外出は少なくなっている。天気の良い日は日光浴を行っている。ご家族の協力ももらい外出してもらう事もある。	コロナ前は月2回程度、外出していたが、コロナで外出中止となり、その間にADL低下が顕著となり、認知症の症状も進んだ。ご家族の協力ももらいながら外出支援をしていく。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少額のお金を所持しておられるご利用者や訪問販売車にて買物をされるご利用者もおられる。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族から電話があり、楽しく話をされている。いつでも電話ができるようにしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の花を飾ったり、カレンダーや新聞、雑誌など生活感が出るように工夫している。トイレの場所や居室がわかりやすい目印をつけている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の好みに合ったレクリエーションを工夫しており、それをご利用者間で褒め合うシチュエーション作りに努めていると感じた。引き続き工夫を向上していく。 玄関ホールや玄関脇にはいつもきれいな花があり、ドアを開けると明るい声で返事をされる。この明るさがとても良い。 家族アンケートで居心地良くするにはどうしたらよいかを聞いてみるのも良いのではないかと。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の思い込みで支援している場合がある。ご利用者の思いや願いを引き出す工夫が足りていない。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の生活歴や習慣など活かしかれていない。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関と連携しながら支援を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在は平均介護度は比較的低いが、認知症に起因して大きな変化も予想される。先を見据えた対応に努力してほしい。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日の基本的な流れは決まっているが、ご利用者のペースに合わせるようにしている。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の協力ももらいながら、今まで使っておられた家具や椅子を持ち込んでもらっている。家で飼っていたペットの写真や家族の写真を置いておられる方もおられる。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症対応でご利用者の思い出の品や入所直前の物品が活用されるなど工夫が見られ、良いことだと考える。 ご利用者の認知症の状態や家族関係、生活歴等により、ご利用者それぞれの持ち込みの物も変わってくるため、都度、ご家族と相談し対応していく。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の祭りに参加している。ご家族の協力で外出ができているご利用者もおられる。	ご利用者が自分の意思で外に出られることは多くあるが、出られるのは決まった方なので、その他の方の希望も聞いていきたい。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者のできることをみつけ、やっていただくようにしているが、引き出せていないご利用者もおられる。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みのご利用者同士が会話したり、活動される場面を作るようにしている。職員との会話を楽しまれる方もおられる。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の好みに合ったレクリエーションを工夫しており、それをご利用者間で褒め合うシチュエーション作りに努めていると感じた。引き続き工夫を向上していく。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日光浴時に会話をしたり、窓越しに近隣の方と話をし交流しておられる。	窓越しに手招きをして近隣の方と話される方や、2階の窓から近隣の方に挨拶をされるご利用者もおられる。今後も気軽に交流できる関係を作りたい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	笑顔が毎日見られるご利用者は多くおられるが、笑顔のないご利用者もおられる。ご利用者一人ひとりが安心してよりよい日々を送っていただけるように努力していきたい。	“ウエルカム”な雰囲気があり入りやすい。家庭的な雰囲気の中で入居されている方が生活できているように思われる。	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の人生のため、職員の意識向上のため、新しい取り組みにチャレンジしていることの効果が出ることに期待する。

グループホーム遊空間 2Fユニット

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念を替え歌にし、ご利用者と職員が共に歌い認識している。また、定期的に就業規則も読み、理念を確認している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩中に声かけしてもらったり、挨拶を心がけている。地域の夏祭りや清掃活動に参加している。職員は通勤時にもきちんと挨拶をするようにしている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議で出された内容について意見や改善に向けての案などを話し合い、サービス向上に活かしている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	分からないことがあれば松江市の介護保険課や生活福祉課等の担当者の方に聞き、指導してもらっている。その際には事業所の現状も伝えている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	手薄の時間帯は施錠するが、職員同士声を掛け合い施錠しないように努めている。研修も行い職員全員で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待について勉強会を行い、不適切ケアも含め、現状を話し合い改善に向けての意見交換ができる時間もとっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員全員の理解には至っていないが成年後見制度については資料など確認できるようになっている。今後は勉強会をし全職員が理解できるようにしたい。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の際は時間をかけ説明するようにしているが、コロナ対策として書類を持ち帰ってもらい時間をかけて目を通してもらい、質問等を受けたこともある。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時や電話では普段のご利用者の様子を細かく伝えるようにし、意見や要望を言いやすい関係作りに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見を普段から聞くようには心がけている。意見や提案を聞く時間としては設けていないため、今後は時間をとり職員意見の反映につなげたい。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の勤務状況や資格取得等の意欲、委員会活動状況、ボランティア活動状況などを把握し、人事考課を行っている。資格取得については受講費の支援も行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間研修計画に添って内部研修を行っている。外部研修については人手不足もあり参加することが難しいが、少しずつ機会が増えているので今後も外部研修の確保をしていきたい。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム部会の参加や外部研修での交流があり、情報交換しサービス向上に活かしている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者にできることはやってもらい、家事活動などご利用者と職員が一緒に行うようにしている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の協力をもらいながらそれまでの関係が途切れないようにしているが、交流が少しずつ少なくなってきている。			
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の思いを聴くように努め、なるべく希望や意向に添った支援をしているが、職員の都合で1日を過ごしていることも多い。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者ご家族の意見を聞き作成し、状況の変化があった場合も見直しを行っている。職員は介護計画を確認しながら記録している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の状況の他、気づきも記録するようにし、職員間で情報を共有しケアにつなげている。記録や話し合いで出された意見や気づきは介護計画の見直しに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族が対応できない場合の病院受診や入院時の支援を行っている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方や民生委員の方、福祉推進委員の方の協力をもらい、地域で安全に暮らすことができている。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者ご家族が希望するかかりつけ医になっている。受診される際はご利用者の状態を細かく伝えるようにしている。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には施設での生活状況など細かく伝え、早期退院ができるよう施設でできることを病院側に伝えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調変化があった場合など、ご家族と話し意思の確認を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急対応時に慌てることがないように対応の訓練を行っている。実践力が身につけられるよう訓練の頻度を増やしていきたい。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練を運営推進会議とあわせ、年2回行っており、地域の方に施設の状況を把握してもらっている。実際に避難が必要な状況となったとき自信を持って対応できるようにしたい。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	心がけているが言葉がなれなれしくなる時がある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設の決まりや効率よりもご利用者の希望を優先したいが、実践できていない。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の状況に合わせて野菜の下ごしらえをしてもらっている。片付けはご利用者と職員が一緒に行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事については外部委託によりカロリーが把握できるようになっており、1日の水分、食事の摂取量は記録に残し、ご利用者一人ひとりの状態を把握するようにしている。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、ご利用者一人ひとりに合わせた口腔ケアを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者一人ひとりに合わせ日中はトイレ誘導を行い、失敗を減らすようにし、おむつの使用を減らすように努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の希望に合わせているが、職員の都合で入浴してもらっていることもある。夜間帯の入浴を希望されるご利用者もおられるが対応できていない。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の生活パターンに合わせて活動してもらったり、休息の時間をとってもらっている。日中はなるべく活動を増やし、夜間安眠につながるようにしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬についてはいつでも確認できるようにしており、薬に変更があった場合も情報共有できるようにしている。服薬時は間違いがないようチェックを繰り返している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者一人ひとりの特技が活かせるよう役割仕事の提供をしている。楽しみごとや気分転換につながるような支援がまだまだ足りない。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ対策のため、以前に比べて外出は少なくなっている。天気の良い日は散歩を行っているが、限られた方となっている。ご家族の協力をもらい外出してもらう事もある。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少額のお金を所持しておられるご利用者や訪問販売車にて買物をされるご利用者もおられるが、お金を使う状況が少ない。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族に電話をかけたいご利用者には電話がかけられるように支援したり、手紙が来たら返事が書けるよう支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時の季節に合わせた壁面作りや歌詞カード作りをしたり、カレンダーや新聞、雑誌など生活感が出るように工夫している。トイレの場所や居室がわかりやすいよう目印をつけている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	普段からご利用者の思いを聴くようにしているが、希望通りの生活にはなっていないと感じる。ご利用者の思いや願いをもっと聞き出し、望む暮らしにつなげたい。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の生活歴や習慣など活かしかれていない。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の健康面については医療機関と連携しながら支援を行っている。安全面や環境面についてはご利用者の状況に合わせて整えるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者のペースで生活してもらうようにしているが、施設の基本的な流れもあり合わせてもらう事もある。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	使い慣れた家具や家族の写真など持ち込んでもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行きたい所があるとご家族のご協力をもらい出かけてもらう事もある。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者のできること、わかることに目を向け、その力を使って役割仕事や楽しみにつながる支援を行っている。できていない方もおられるので職員の意識もかえていきたい。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仲の良い方との会話を楽しんだり、一緒に家事活動をされる時間が多くある。職員との会話も楽しみにしておられるご利用者もおられる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩時に顔見知りになり、立ち話をされたり、窓越しに近所の方に挨拶をされている光景をみる。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者全員がここでの暮らしに満足しておられるとは思えないが、多くのご利用者によりよい日を送っていただけるよう努力を重ねていきたい。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	